

# 回覧

2024年度 南流山自治会館の改修・利活用検討委員会 第2回会合

日時： 2024年6月23日(日) 10:00-12:10

場所： 南流山自治会館大広間

参加者（敬称略）： （委員）川本委員長、石井副委員長、山岸委員、河野  
（三役）中瀬副会長、木原総務部長  
（オブ）三浦会長、馬場副会長、丸山副会長、井田会計部長、佐藤班長(1-4-4)  
（委託先）かまくらスタジオ 福井氏  
（都合により欠席）宮田委員、田中副会長

## 1 7月26日子ども夏祭りでの展示内容

- ・ 完成イメージ図の掲示
- ・ 模型の展示
- ・ アンケートの実施（紙配布・QRコードからのGoogleフォーム）  
上記を、ふれあい広場（会館東側の庭）の北東部分で、小テント・ベニヤパネルを活用して展示する。

## 2 建物要件についての意見交換

- 室内の上下足（土足にするかスリッパ履き替えにするか）
  - ・ 下足（土足）とする方向
  - ・ 床を工夫することで掃除等の手間はそれほど心配はない
  - ・ イベント時のみ土足とし、通常時はスリッパ履き替えとすることも選択肢、詳細は今後さらに検討
- 屋根形状
  - ・ 平坦な一枚屋根とするか、採光等のための高窓を設けるプランとするか
  - ・ 高窓を設けるプラン（あまり高くない）とする方向
  - ・ 空調の効きの不安があるが、高窓から熱気を逃がすこともできるため心配ない
  - ・ 一定のシンボリックさも印象的
- 窓ガラス
  - ・ 複層のlow-eガラス（熱線を避けるガラス）とアルミ樹脂複合サッシで断熱性と結露防止
  - ・ 事務室西側の窓ガラスは西日で真夏に暑くなる。窓を小さくする or 断熱をさらに検討
- 床材
  - ・ 土足にする場合は、例えば金沢21世紀美術館のようなコーティングをしたコンクリートを想定
  - ・ 床が寒々しくなる心配があるが、むしろ断熱材をいれることで現状よりも保温性向上
  - ・ 体操、ヨガはマットを使用。土足だとこれらのマットを敷きたくないと思う→常時土足でなければ大丈夫では
- 照明
  - ・ 下部から間接照明で照らし、天井からの反射光で十分明るさ確保可能
- 広間のパーティション
  - ・ 高窓等で上部に空間があると遮音性が低下するが、そもそもパーティションでしっかり区切っても遮音性は完ぺきではない
  - ・ パーティションで区切った場合の使用方法をさらに検討して詳細を考える。一方の部屋に出

入りするためにもう一方の部屋を通過しないといけないという点

○ 耐震、防災

- ・ 屋根の形状、耐震性は法令的には問題ない。現在の瓦屋根は、瓦が落ちる心配があるため、ガルバリウム葺きを想定。
- ・ 会館はサイズの面から防災拠点にはなり得ず、水の備蓄等は容量的にも難しい。その代わり、防災井戸の設置や、かまどベンチの設置で炊き出しに対応したり、精神的な拠点になることをイメージ

○ その他

- ・ 年代によってとらえ方にギャップがあると思う。これからの若い世代が使いたいと思う会館であってほしい。また、利活用の面でカスタマイズできるような仕様が良いと思う。
- ・ 夏祭りでアンケートを取る等すると、スケジュールの遅延が心配。→市の補助金の可能性等も見据え、柔軟に対応していくことでいいのでは

以上

3 次回委員会

- ・ 7/21(日)13:00～、自治会館広間を予定。

以上

|  |
|--|
| 作成：川本 大岳（委員長）、河野 航（書記）<br><オブザーバー参加やお問い合わせ連絡先><br>川本携帯：090-2962-5278 |
|--|